

中期計画期間【2019-2022】の主な取り組み

総合計画の基本計画では5つの基本目標を施策の柱とし、前期・中期では施策間連携を図ることで一層の効果が発揮される3つの重点プロジェクトを定めており、主な取り組みをご紹介します。

経済元気化プロジェクト(重点)



◆農業の担い手育成支援事業（令和元年度～令和4年度：事業費4,991万円）

新規参入者への支援として、関係機関などで構成する支援チームや集落支援員によるサポート、経営に必要な設備や機械などの取得費用に対する助成を実施。農家子弟への支援では、就農に伴う規模拡大や経営の多角化、農業所得向上の取り組みに要する経費の助成などを実施している。

◆商店街等活性化事業（令和元年度～令和4年度：事業費29億6,267万円）

地域経済の好循環を図り、まちに元気を生み出すため、中小企業の店舗改修や新商品開発・販路拡大を支援するとともに、融資斡旋や利子補給を実施している。

◆観光振興事業（令和元年度～令和4年度：事業費1億9,169万円）

近隣市町村と連携した広域観光を推進するとともに、インバウンド受入体制の整備を進めた。また、Nスポーツコミッションと連携・強化を図り、冬季スポーツ拠点化プロジェクトの推進にも資するスポーツツーリズム商品の開発を進めている。

安心子育てプロジェクト(重点)



◆乳幼児等医療給付事業(小学生の通院医療費の全額助成など)(令和元年度～令和4年度：事業費2億6,988万円)

乳幼児等に対する医療費助成を拡大し、小学校6年生まで通院医療費の全額助成を実施している。
(令和2年10月から)

◆こどもの遊び場の整備（令和3年度～令和4年度：事業費8,336万円）

子どもが季節や天候に関係なく安心して遊び、身体を動かすことのできる屋内の遊び場を(株)西條名寄店2階に整備している。(令和3年12月供用開始予定)

冬季スポーツ拠点化プロジェクト(重点)



◆Nスポーツコミッション設立・ジュニア育成など（令和元年度～令和4年度：事業費9,442万円）

スポーツを通したまちづくりを担う官民協働の組織「Nスポーツコミッション」を設立し、冬季スポーツを中心とした大会・合宿誘致による地域経済の活性化やジュニア世代の育成・強化、市民の健康増進につながる取り組みなどを実施している。

◆各種大会開催事業（令和元年度～令和4年度：事業費2,184万円）

ジュニアオリンピックカップなどの全国・全道規模の競技大会の誘致や大会への支援を実施するとともに、憲法記念ハーフマラソンなどのスポーツイベントの開催や支援を実施している。

※各事業金額は、概算経費を含んだ数値となります。

基本目標Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり

◇公営住宅整備事業（令和元年度～令和4年度：事業費4億7,689万円）

公営住宅の計画的な改修や長寿命化改修を実施し、良好な住環境の向上を図っており、北斗団地建替え、瑞生団地基本設計・実施設計を実施している。（瑞生団地令和4年度建設工事開始予定）

◇下水道・合併浄化槽の整備（令和元年度～令和4年度：事業費11億4,273万円）

下水道機能を持続するため、ストックマネジメント計画に基づき、管渠および処理場施設の改築更新を計画的に実施している。また、公共下水道区域外については、公衆衛生の向上のため、合併浄化槽の整備を実施している。

◇市道の改良・舗装、除排雪（令和元年度～令和4年度：道路事業費16億5,404万円、除排雪事業費20億8,606万円）

徳田1号線などの道路整備による舗装率向上と老朽化した道路の再整備を実施するとともに、除雪機械の更新を行い、10cm以上の降雪による新雪除雪や路面整正と併せて、道路幅員確保のため排雪を実施している。

◇名寄高校駅設置事業（令和2年度～令和4年度：事業費6,881万円）

主な利用者が名寄高校通学生である東風連駅を名寄高校前に移設・改名し、通学の利便性および名寄高校の魅力向上を図るため、整備を実施している。（令和4年春供用開始予定）

基本目標Ⅳ 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり

◇畜産クラスター事業（令和2年度：事業費4億7,600万円）

生乳生産量の維持・拡大を目指すため、省力化機械整備などによる規模拡大および収益力・生産基盤の強化を図るとともに、酪農家の労働負担軽減、優良後継牛の確保に向けて哺育・育成センターの整備を実施した。

◇市有林造林事業（令和元年度～令和4年度：事業費2億1,595万円）

森林の持つ公益的機能や木材資源の価値を高めることを目的とし、植林や保育、間伐など効率的な森林整備を実施している。

◇住宅改修等推進事業補助の実施（ずっと住まいる応援事業）（令和元年度～令和4年度：事業費1億1,995万円）

市民が安心して住み続けられる住環境の整備および名寄市への移住促進並びに空き家の有効活用を図るとともに、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化および技術者の人材育成を推進した。

◇なよろ温泉整備事業（令和元年度～令和4年度：事業費3億243万円）

市民、宿泊者および日帰り温泉利用者のニーズに対応した機能向上のため、「なよろ温泉サンピラー」の施設改修を進めている。（令和4年度改修予定）



基本目標Ⅰ 市民と行政との協働によるまちづくり

◇多様な媒体による広報の実施

一人でも多くの方へ情報を届けるべく、広報紙による情報発信のほか、オープンデータとしても活用が見込まれるマイ広報紙への登録や市公式LINEアカウントの開設、地デジ広報の運用など多様な媒体での情報発信を実施している。

◇町内会自治活動交付金事業（令和元年度～令和4年度：事業費5,144万円）

各種町内会活動や広報紙の配布などコミュニティづくりを促進する地域活動に対する、町内会への財政的支援を実施している。

◇市税等キャッシュレス決済・コンビニ収納の導入（令和2年度～令和4年度：事業費629万円）

新しい生活様式に対応するため、市税等の納付に対してアプリによるキャッシュレス決済・コンビニ収納を導入し、納税者の利便性向上を図っている。



基本目標Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり

◇感染症対策事業

新型コロナウイルスをはじめとする各種感染症対策の実施や高齢者へのインフルエンザ・肺炎球菌予防接種費用の一部助成、乳幼児への定期予防接種を実施している。

◇公立保育所等整備事業（令和2年度～令和4年度：事業費8億5,149万円）

子どもたちが安心してのびのびと健やかに過ごすことができるよう、現南保育所隣地に新しい公立保育所の整備を実施している。

◇介護人材就労定着支援事業（令和元年度～令和4年度：事業費996万円）

市内事業所で不足している介護人材の確保・育成のため、資格保持者への就労支度金や研修受講費用の助成を実施している。

◇医療介護連携ICTシステム導入（令和2年度～令和4年度：事業費7,904万円）

医療と介護のサービスが切れ目なく一体的に提供できるよう、データを相互活用することで、医療・介護などの支援関係者が随時連携できる情報共有システムを構築した。（令和3年7月より本格運用開始）

◇基幹相談支援センター事業（令和元年度～令和4年度：事業費150万円）

地域における相談支援の中核的な役割を担い、障がいの種別、障害者手帳の有無に関わらず、各種ニーズに対応する相談支援をワンストップで総合的・専門的に実施している。



※各事業金額は、概算経費を含んだ数値となります。

基本目標Ⅴ 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり

◇小中学校情報機器整備事業(GIGAスクール構想)(令和元年度～令和4年度：事業費2億8,530万円)

国が進めるG I G Aスクール構想を推進するため、小中学校の児童生徒に1人1台端末の導入や教育情報機器の整備、I C T支援員の配置などを実施している。

◇市内小中学校改築事業

児童生徒が安全安心な学校生活を送るため、校舎などの改築や改修に努めており、現在は小中一貫教育による新たな義務教育学校を開校するため、智恵文小学校を智恵文中学校に併設する整備を実施している。

◇情報および実習環境整備事業(大学)(令和元年度～令和4年度：事業費1億5,073万円)

市立大学生の学習環境の充実を図るため、各種システムおよびサーバーなど情報システムの更新、併せてオンライン授業への対応を図るとともに実習環境の整備を実施している。

◇放課後児童クラブの充実(令和元年度～令和4年度：事業費2億7,866万円)

児童の放課後における安全安心な居場所をつくり、子育てと就労の両立支援を図るため、各小学校区を中心に整備された放課後児童クラブの運営・支援を実施している。

◇市民と協働による文化芸術推進事業(令和元年度～令和4年度：事業費3,567万円)

E N - R A Yホールを核に舞台芸術の鑑賞機会の提供や市民参加の促進のため、なよろ舞台芸術劇場実行委員会などと連携のもと事業を実施している。また、市民や市内団体の事業の開催を支援している。



※各事業金額は、概算経費を含んだ数値となります。

もっと名寄市のことを知りたくなったら

名寄市ホームページ(トップ)



総合計画ページ



総合計画(第2次)中期基本計画

⇒現在、この計画の取組期間となっています



主要施策ごとの取り組みを掲載しておりますので、アンケート回答の参考としてください。